

ミサワホーム中国スペシャル

古代オリエント

カミとヒトの ものかまたり

— 神、精霊、人間が織りなす神話の世界 —



パアル
シリア、前1500年頃
岡山市立オリエント美術館



パールヴァティー
インド、1100-1200年頃
石洞美術館



ヘラクレス
パキスタン、100-300年頃
平山都夫シルクロード美術館



テセウスとミノタウロス
ギリシア、前550年頃
松岡美術館



イシス
エジプト、前332-30年頃
天理大学附属天理参考館



西王母
中国、前200-後220年頃
天理大学附属天理参考館

2017年
7月15日(土) ▶ 9月3日(日)



岡山市立オリエント美術館

岡山市北区天神町9-31 TEL 086-232-3636 FAX 086-232-5342
www.orientmuseum.jp orient.a.exblog.jp fb.com/okayamaorientmuseum

休館日：毎週月曜日休館

(月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館。8/14は開館)

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料：一般1,000円(前売800円)

満65歳以上の方・高校/大学生800円(前売600円)

小中学生500円

※20名以上の団体は各200円引

※その他各種割引は当館へお問い合わせください。

※障害者手帳をお持ちの方とその付添の方1名は無料

※前売券は当館受付、当館周辺ギャラリー、岡山市内主要プレイガイド、コンビニ店頭*でお求めください。

セブンチケット (<http://7ticket.jp>)

ローソンチケット (Lコード61351)

チケットぴあ (Pコード768-411)

*コンビニでは7/15からは当日料金での販売になります。

主催：岡山市立オリエント美術館、RSK山陽放送

企画制作：岡山市立オリエント美術館、古代オリエント博物館

後援：岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市連合町内会、
岡山市連合婦人会、岡山市PTA協議会、公益社団法人岡山
県文化連盟、岡山オリエント協会、岡山市立オリエント美術
館友の会、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、読売新聞岡山
支局、毎日新聞岡山支局、中国新聞備後本社

特別協賛：MISAWA ミサワホーム中国

ミサワホーム中国スペシャル

古代オリエント

カミとヒトの ものがたり

ヴィーナスとキュービッド
シリア、100-300年頃
古代オリエント博物館



ディオニッソス
ギリシア、前520-500年頃
平山郁夫シルクロード美術館



— 神、精霊、人間が織りなす神話の世界 —

科学が発達する以前、人びとは世界のはじまりや成り立ちを理解するために神々の存在に思い至り、神々と人間が織りなす物語によって説明しようとしてきました。これを私たちは神話と呼んでいます。現代にまで伝わる古代神話は今でも魅力的です。実際、私たちが親しんでいる現代の小説や映画などにも古代神話とよく似たストーリーのものも多く見られます。古代世界においても現代社会においても神話や物語は、エンターテインメントでもあり、社会的知識や道徳を共有するためのものとも考えることもできます。

本展では、ギリシア・ローマからエジプト、メソポタミア、インド、中国、日本にまで至る広大なオリエント世界の神話や物語を、そこに登場する神々や物語の一場面を表現した工芸作品などを展覧しながら紹介します。物語を楽しみながら、私たちの暮らしや社会における神話の意味・役割についても改めて考えてみたいと思います。

ジュニア・オリエント教室 神さまのからくり物語

7月31日(月)

① 9:30~11:30 ② 13:30~15:30

料金：入館料+材料費 600円

定員：小中学生 各回 15名

*小学校4年生までは保護者の同伴が必要

講師：関野倫宏(関野意匠室+絡線堂)
関野智子(画家)

休館日に開催しますので、必ず事前に参加申し込みをしてください。

古代オリエントの神話をヒントに、オリジナルの神キャラや神話をつくって、からくりおもちゃにしちゃおう!

他にもイベントを予定しています。
オリエント美術館のウェブサイト、
ブログ、FB ページをチェック!

からくりおもちゃを使って、オリジナル神話を動かそう!



古代オリエント神話学講座

13:30~16:00 ※終了時間は前後する場合がございます。

オリエント美術館地下講堂

聴講料 500円(友の会会員は300円) 要申込み(定員50名)

7月23日(日)

古代オリエント、英雄たちの友情

月本 昭男 古代オリエント博物館館長



ライオンと闘う英雄
イラク、前2200年頃
平山郁夫シルクロード美術館

紀元前2千年紀前半に記された『ギルガメシュ叙事詩』は、ギルガメシュとエンキドゥとの友情を印象深く語っています。後の旧約聖書やホメロスの叙事詩にも、悲しくも美しい友情が描かれてゆきます。それらは友の死という共通テーマに、それぞれの文化的特色が加えられています。こうした友情物語を、個が自覚される人類精神史の一段階として考えてみましょう。

8月26日(土)

この世界のはじまりの神話はいつはじまったのか?

松村 一男 和光大学教授



大気の神、シュウ
エジプト、前1000年頃
古代オリエント博物館

科学が発展する以前、ひとびとは世界の仕組みやもののはじまりについてさまざまに考え、物語として語り伝えてきました。それを私たちは神話と呼んでいます。世界のはじまり、人間の誕生と死のはじまり、そして火や食べ物のはじまりなど、世界のはじまりの物語をみながら、神話のはじまりを人類の誕生と移動の旅から考えてみましょう。



ハルボクラテス
エジプト、前650-332年頃
岡山市立オリエント美術館



岡山市立オリエント美術館

岡山市天神町9-31 TEL 086-232-3636 FAX 086-232-5342

JR岡山駅東口より路面電車「東山」行きで約5分、「城下」下車、左手すぐ。

JR岡山駅東口より徒歩15分。

*当館には来館者用駐車場はありませんが、市営天神町駐車場をご利用の場合、当館受付にて割引券(1台1回につき100円)を交付します。